

原水協活動推進News

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03-5842-6031 FAX：03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年11月11日 No.15

被爆者援護・連帯募金にとりくもう

【石川】ペットボトル募金（被爆者援護・連帯募金）が15万円

石川県原水協は、5年前から原水爆禁止国民平和大行進の要請項目の一つに自治体窓口や職場でのペットボトル募金のお願いを入れ、今年は15万円もの募金が集まっています。集まった募金のうち5万円は地元の被爆者団体への募金とし、10万円は原水協2000万円募金として日本原水協に送りました。

ペットボトル募金箱は、500mlのボトルの上部にコインの入る穴をカッターで開け、穴の下に日本原水協が作った募金袋を切り抜いて貼り付け、裏側には援護シールを貼り、穴が目立つように白い紙を貼りつけています。

自治体への要請は、はじめに国民平和大行進の協力要請文を要請予定日とともに送付します。要請項目の中に核兵器廃絶署名と被爆者援護・連帯募金（ペットボトル募金）を載せます。そして国民平和大行進の1か月前（要請日）に訪問して要請事項を説明。その時にペットボトルと募金欄付きの署名用紙を渡して国民平和大行進の出発（到着）時に頂けるようお願いいたします。その後国民平和大行進の出発式（到着）のセレモニーの中で署名と募金を受け取るようにしています。

1年目は、被爆者のためという事で快く受け取ってくれたところと、拒否したところがありました。拒否の理由は、「現金が入るので責任が持てない」「これまでに例がない」「原水協だけというわけにはいかない」等でした。結果は過半数に届かなかったけれども8万円ほど集まりました。職員に回覧して、3万円も集めてくれた町もありました（ボトルは1000ml 3本になっていました）。

2年目からは、募金のお礼と集まった金額、日本原水協を通して全国の被爆者へ、県被災者友の会に届けた旨を要請文に書きました。結果は過半数を少し超え約13万円集まりました。3年たつと、定着し、ボトルを見せるとにっこり笑って受け取るようになりました。また、金沢市、小松七尾市を除きすべての自治体で取り組んでくれ、金額も約15万円の目標額に届くようになりました。

内藤晴一郎石川県原水協事務局長は、「自治体だけでなく、原水協関係団体や、人の集まる施設に頼んで置かせてもらった年もあります。とにかくお願いし、毎年続けることです」と話しています。



野々市町役場で総務課長からペットボトル募金を受け取る内藤晴一郎・石川県原水協事務局長（2003年6月17日、竹田昭彦日誌13より）
<http://www8.plala.or.jp/TAKEDA/03-6-17.html>

全日本民医連事務局から28,000円超える募金

全日本民主医療機関連合会（全日本民医連）事務局から、28,867円の被爆者援護連帯募金が寄せられました。

全日本民医連は被爆者援護連帯募金を呼びかけるリーフレット、ステッカー、シールを全国1700事業所に送っています。



最新情報はコチラ→原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>
携帯電話からもアクセスできます。